

医療安全研修と活動

平成 30 年度医療安全研修

テーマ	研修名	開催月	対象者	参加者
第 1 回医療安全研修会	ヒューマンエラーの理解	5月	全体	321名 (45%)
	DVD フォローアップ 12 回			350名 (50%)
第 2 回医療安全研修会	チーム STEPPS って何ですか	10月	全体	319名 (46%)
	DVD フォローアップ 10 回			339名 (47.3%)
協力研修	身体抑制の基礎	5月	新人	49名
	身体抑制と心理ケア	11月	全体	41名
	MET 報告会	2月	全体	57名
	SMT 活動報告会	3月	全体	59名
	医療安全教育	新採用者オリエンテーション	4月	新採用
	医療安全ラダー I (インシデントレポート)	7月	新人	22名
	医療安全研修 (医療安全の視点・体験・コミュニケーション)	7月	看護 補助者	34名
	看護管理者研修	1月	看護部	2名

医療安全活動

1) 院内巡視

平成 30 年度の院内巡視は、急変時に対応できるように救急カートの点検と管理者の点検状況について確認し、マニュアル通り点検が実施出来るように活動しました。

救急カートラウンド



★救急カート点検と整備★

- 1 救急カートは点検表を用いて各部署1-2段目(1日1回、3-4段目とカート棚は1週間に1回(本曜日)と使用後にチェック)いつでも使用可能な状態を整えておく。
- 2 カート上側の時計は、週間に1回(本曜日)に電子カルテか電子時計で時刻を合わせる。救急カートを使用するよう緊急時の記録は、この時計の時刻で記録する。
- 3 どこでも誰でも適切に救急処置に対応できるようにすることを目的として、救急カートの点検は全職員が担当するように業務分担する。
- 4 新人職員が点検を担当する場合は、4月から6月間はリーダーあるいはプリセプター担当者等が事後確認すること。
- 5 点検の実施状況を確認するために、部署管理者は1週間に1回点検表のチェックと点検者名を確認し、確認日を記載して確認印を押す。

<ラウンド実施しての評価>

1. 一部の部署で、時々チェックが抜けている曜日がありますが、ラウンドを実施してから各部署点検がしっかり実施されるようになってきました。(いつ点検を実施するかを決めた・サイン漏れを指摘する等で改善されていた)
2. 責任者のサインは部署により差がありますが、1日もしっかり実施されるようになってきました。(責任者の方・・・1週間に1回の確認をお願いします)
3. いつでも誰でも使用できるように、毎日確実に点検を継続して下さい。
4. カートの上に色々な物を置いている部署もありました。

上記写真をモデルに整理整頓をお願いします。

平成30年11月 医療安全室

繰り返し発生した転倒事例に関して、発生現場で検証しながらカンファレンスを実施しました。


2) 医療安全ニュース


毎月1回「ANZEN」と題した、医療安全に関するニュースを掲示板に提示しています。


職員の皆さんにお知らせしたい内容や事例などを紹介しています。また、お互いの部署を知り、安全対策に活かそうということで、各部署の紹介もしています。

栄養科でまどんな仕事をしている？ NO.1

**2019
1月14日**







全体研修で他部署の事を知りたいという要望がありました。12月より他部署の情報を配属します。

配膳車

温かいもの【70℃】冷たいもの【5℃】に分けられて提供できるすぐれものです。この温度は基準に沿って設定された温度です。病棟順に配膳準備を実施しています。

配膳1

ベルトコンベアに乗せられたトレーの食事を2人体制で確認しています。普類/名札/異物混入有無/内容
⇒指差し確認をしっかりと実施していました😊
～指差し確認を実践しよう～

配膳とメニューについて

ダブルチェック後病棟毎の配膳車に乗せます。
★メニューは70～80種類あります。主に依頼があるのは30種類程度です。病棟担当の管理栄養士がいるので、食欲不振、形態等困ったことがあれば相談に応じています。

2019-02-01に開かれた管理・お祝い会にて 配膳車全室 全子・純香

3) 医療安全情報

日本医療機能評価機構より毎月1回、医療安全情報が届きます。こちら電子カルテの掲示板に掲示しますが、その際には当院での事例や当院での対策なども一緒に掲示するようにしています。

4) SMT (Safety Management Team) 活動

30年度は、「内服薬チーム」、「転倒・転落防止チーム」、「身体抑制に関する検討チーム」が活動を開始しました。

新たに「TeamSTEPPS 推進チーム」を立ち上げました。全体研修では、亀田総合病院産婦人科部長の鈴木先生を講師に招き、「TeamSTEPPS って何ですか？」を病院全体で学ぶ機会を設けました。チームワークの向上を目指し、臨床におけるエラーを減らす活動をしていきます。

活動報告会では、働きやすい病院、医療安全を文化として根付かせるという目的を示しました。

TeamSTEPPSを使ってできることは？

- 医療安全を病院の文化として根付かせる！
「メンタルモデルの共有」
- みんなが少しでも働きやすい病院にする！
「心理的安全性」

